



同志社大学

ルネサンスに関する空欄補充問題が的中

入試問題

2月7日実施
学部個別日程
〔I〕設問1、設問5

河合塾

大学受験科 基礎シリーズ
世界史 演習
第9講 3

〔I〕 次の文章を読んで、設問1～7に答えなさい。(50点)

14世紀から15世紀にかけての西ヨーロッパでは、伝染病の流行や戦争によって多くの命が奪われ、同時に教会の権威が相対的に低下した。そのような危機の中で、旧来の価値観にとらわれずに現世の生き方を模索し、人間の理性や感情をより重視する文化運動であるルネサンスが展開した。ルネサンスは、イタリアの諸都市において古代ギリシア・ローマの文化への知的欲求が高まり、学問や芸術の活性化がもたらされることによって始まった。とくにいち早くルネサンスが開花したのは、中世から毛織物工業や金融業によって繁栄し、メディチ家に代表される富裕な市民が芸術家や学者を保護したフィレンツェであった。文学においては、詩人 ア が、学術言語としてのラテン語ではなく、トスカナ地方の俗語によって『神曲』を書き、イ は『デカメロン』によって伝染病流行下の社会における人間の欲望や偽善を風刺した。美術では、「ヴィーナスの誕生」を描いた ウ、「ダヴィデ像」を制作した エ、多くの聖母子像を描いた オ、サンタ・マリア大聖堂のドームを設計した カ もフィレンツェで活躍した。

ルネサンスはイタリア以外のヨーロッパの地域にも広く伝播した。ネーデルラントでは、エラスムスがギリシア語原典による聖書研究を行うとともに、教会の腐敗を痛烈に批判した。美術の分野では、キ 兄弟が油絵の技法を完成し、ク が農民の生活をいきいきと描いた。ドイツでは、ケ が緻密な版画を制作し、コ がエラスムスの肖像画を描いた。イギリスでは、サ が『ハムレット』で複雑な人間性を生き生きと描写し、シ が『ユートピア』で鋭い社会風刺を行った。フランスでは、ス が『ガルガンチュアとパンタグリユエルの物語』で社会を風刺し、その後 セ が『エセー(随想録)』で人間の内面を探究して宗教戦争の時代における寛容を説いた。ルネサンス期には、事物の観察や実験が重視され、技術や科学が発展した。

設問1 文中の空欄 ア ～ チ に入る最も適切な人名を、次の1～50の語群から一つずつ選び、その番号を解答欄I-Aに記入しなさい。

設問5 下線部(d)について、エラスムスがこの目的のために著した著作名を解答欄I-Bに漢字で記入しなさい。

〔II〕 ルネサンス

次の文章を読み、下の問い(問1～10)に答えよ。

フランス語で「再生」を意味するルネサンスは、14～16世紀にかけて西ヨーロッパで展開された広範な文化運動であった。中世のキリスト教的・禁欲的価値観や人間性の抑圧を批判的にとらえ、人間の自然な感情や現世の生活を肯定したルネサンスの根本精神は、ヒューマニズム(人文主義)と呼ばれた。ヒューマニスト(人文主義者)たちは、その模範をギリシア・ローマの古典文化に求めたのである。

ルネサンスはイタリアから始まったが、その理由としては、古代ローマの文化遺産が各地に現存していたこと、⁽¹⁾十字軍などによりビザンツやイスラームの文化と接触したこと、レヴァント(地中海東岸)地方との東方貿易により都市が繁栄していたことがあげられる。さらに⁽²⁾ビザンツ帝国の衰亡により、多くの東方の学者が移住してきたことも一因と言える。

イタリア・ルネサンスの中心地は (3) であったが、ここでは金融業で大富豪となったメディチ家が多く学者・文人・芸術家を後援した。その中には、⁽⁴⁾ルネサンス様式の代表的建造物であるサンタ・マリア大聖堂のドームを設計した (5)、「ヴィーナスの誕生」で有名な、女性美を表現したボッティチェリなどがいた。15世紀末から16世紀前半にかけてルネサンスは盛期を迎えたが、この時期に活躍したのは、ルネサンス美術を代表する三大巨匠である。⁽⁶⁾レオナルド・ダ・ヴィンチ、「ダヴィデ像」やシスティナ礼拝堂の天井画「天地創造」を制作した (7)、聖母子像で知られる (8) の三人であった。

イタリアで生まれたルネサンスは、その後、アルプス以北にも広がっていった。毛織物工業や中継貿易が盛んであったネーデルラントでは、⁽⁹⁾兄弟が優れた祭壇画・肖像画を描き、フランドル派を確立した。この地方出身のエラスムスは、『(10)』で聖職者の腐敗を批判し、後の宗教改革に影響を与えた。フランスのルネサンスは、国王の保護の下で発展した。『ガルガンチュアとパンタグリユエルの物語』で社会や教会を批判した (11) や、『エセー(随想録)』を書いて随想文学の祖と呼ばれた (12) が現れた。ドイツでは鉱山業が盛んであった南ドイツを中心に、銅版画や『四人の使徒』で知られる (13) や、『エラスムス像』を描いた (14) などが活躍した。

教会の権威にとらわれない事物の観察や実験が重視されたルネサンス期には、技術や科学も発達した。⁽¹⁵⁾ルネサンスの三大発明と呼ばれる火薬・羅針盤・印刷術は、社会に大きな影響を与えた。